

第17回 技術者倫理シンポジウム

『インフラマネジメントと技術者倫理 －技術の意義と技術士・技術者の役割とは－』

2026年5月13日（水）13:00～17:00

主催 公益社団法人 日本技術士会

技術士倫理綱領第1条（安全・健康・福利の優先）には「技術士は、公衆の安全、健康及び福利を最優先する」とあり、第9条（相互の尊重）には「業務上の関係者と相互に信頼し、相手の立場を尊重して協力する」こととしている。これらは技術の本質が人々を幸福にするためのものであり、技術士・技術者は、その実現において重要な役割を担っていることを示唆している。

昨年、埼玉県では地下10mに布設された下水道管の腐食が要因とされる陥没事故が発生し、通行中のトラックのドライバーが亡くなり、また、下水道を利用している約120万人の市民生活に多大な影響を及ぼした。近年、下水道に限らず、インフラ（社会基盤施設）の劣化に起因する事故が増加しており、膨大なストックを有するインフラのマネジメントは社会全体の課題となっている。

第17回技術者倫理シンポジウムでは、様々な分野の技術者が携わるインフラマネジメントのあり方を通じて、技術士・技術者には何が求められているのかについて考えるとともに、私たちが提供する技術は、将来にわたって安全と言えるのか、予測困難な事象に対してどのように行動すべきか、等について考える機会としたい。

- 日時 2026年5月13日（水）13:00～17:00
- 場所 機械振興会館 6-67 & Web開催（Web参加は会員のみ）
- 定員 会場45名+Web200名
- 参加費 会員2000円、非会員4000円

【プログラム】（会議&Web 入場受付12:30～）

- ・開会のことば（13:00～13:05）公益社団法人 日本技術士会会長 黒崎靖介
- ・趣旨等説明（13:05～13:10）日本技術士会 倫理委員会委員長 中野智仁
- ・講演1「埋設インフラの老朽化に伴う道路陥没・想定外への対応」
（13:15～14:05）桑野玲子氏（東京大学生産技術研究所教授）
- ・講演2「強靱で持続可能な下水道を次世代へ～東京下水道の歴史と全国特別重点調査～」
（14:10～15:00）家壽田昌司氏（東京都下水道局計画調整部長）
- ・講演3「大規模地震に備えたJR 東日本の対策について」
（15:05～15:55）安田武道氏（東日本旅客鉄道(株)設備部門土木ユニットマネージャー）
- 休憩（15:55～16:05）—————
- ・パネルディスカッション（16:05～16:55）
パネリスト 桑野玲子氏、家壽田昌司氏、安田武道氏、籠目勇一氏（日本技術士会会員）
コーディネーター 日本技術士会 倫理委員会委員長 中野智仁
- ・閉会のことば（16:55～17:00）日本技術士会 倫理委員会委員長 中野智仁

●申し込み：本会 HP の CPD 行事案内からお申し込みください。

◎定員（会場45名+Web200名）になり次第、締め切りますのでお早めにお申し込みください。

注1）当日の資料配付はありません。事前にデータにて配信しますので、適宜ダウンロードしてください。

注2）通信状況が不安定になりますので、会場でのインターネット回線の使用はご遠慮ください。